

2020 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に 岡山市で救急搬送された方およびそのご家族を含む代諾者の方へ

—「院外心停止患者における救急救命士による病院前末梢静脈カテーテル径が静脈確保
の成功率および患者予後に与える影響の検討」へご協力のお願い—

研究機関名 岡山大学病院 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
研究機関長 病院長 前田 嘉信 研究科長 成瀬 恵治
研究責任者 岡山大学病院 救命救急科 助教 上田 浩平

1) 研究の背景および目的

この研究は、救急救命士が心肺停止（CPA）患者さんに対して実施する静脈路確保において、使用するカテーテルのサイズ（主に 20G および 22G）が施行率や成功率に与える影響を記述的に明らかにすることを目的とした観察研究です。現在、救命士が選択するカテーテルサイズには標準化がなく、個別の判断に委ねられておりますが、針径の違いが成功率や処置の円滑さに影響を与えている可能性があります。この研究では、岡山市消防管轄の CPA 症例のうち、救命士による静脈路確保が試みられた症例を対象とし、記録からカテーテルサイズ、穿刺回数、成功の有無などを抽出・集計いたします。得られたデータは記述統計を用いて整理し、今後の静脈路確保手技における標準化と効率化に資する知見を得ることを目指します。

2) 研究対象者

岡山市消防において 2020 年 1 月から 2024 年 12 月に搬送された CPA 症例のうち、救命士による末梢静脈路確保が試みられた症例 1000 例程度を研究対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2027 年 3 月 31 日

情報の利用開始予定日：研究機関の長の許可日から 1 週間後

4) 研究方法

この研究では、岡山市消防が実際に記録した搬送データをもとに、現場で実施された末梢静脈路確保の成否や予後との関連を記述統計および比較検討により明らかにします。これにより、現場における器材選択の判断に対する明確な根拠を提示し、処置の標準化や作業効率の向上、さらには患者の予後改善に寄与することを目指します。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、岡山市消防局から以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・データセット：共通基本、傷病者基本、傷病者容態、傷病者病名
- ・実施者についての情報（経験年数、指導救命士の有無）
- ・ウツタイムデータ（性別、年齢、搬送日（年、月、日）、覚知時間、接触、現発、病着時間、Bystander 有無、目撃有無、初期波形、搬送に関連する時間、静脈路確保の有無、アドレナリン投与回数、気道確保

の方法(BVM、LT、挿管)、気道確保の時間、DCの有無、初期波形、病院内ROSC有無、ROSC有無、30日生存、30日後CPC)

- ・ 静脈路確保に関する情報：試行目的（CPA／ショック／クラッシュ／低血糖（ブドウ糖））
穿刺回数、穿刺成功の可否、留置針ゲージ数（20G、22G）、
穿刺部位（前腕／手背／肘正中／足背など）
静脈路拔去の原因（滴下不良、漏れ腫れなど）

6) 試料・情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間、岡山大学病院救命救急科医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 二次利用

この研究で用いるデータは、岡山市消防との合意に基づき、研究目的に限って使用するものであり、将来的に他の研究に転用したり、他の研究機関へ提供したりすることは現時点では予定していません。

仮に今後、他の静脈路確保の研究を目的とする他研究への二次利用や外部機関への提供を検討する場合は、改めて研究計画書を倫理審査委員会に提出し、承認を受けます。承認された場合、ホームページでの研究の公開（<http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/ethics/koukai/>）がされます。もし、あなたの意思が変わった場合には、いつでも下記の連絡先までお申し出ください。

7) 研究資金と利益相反

この研究は特段の費用を要しないため特定の研究資金は用いません。

この研究に関して利害関係が想定される企業等で研究責任者や分担者あるいはその家族が活動して収入を得ているようなことはありません。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学病院 救命救急科

氏名：上田 浩平

電話：086-235-7427（平日：8時30分～17時00分）

＜既存情報の提供のみを行う機関＞

(機関名) 岡山市消防局

(住所) 岡山市北区大供一丁目 1 番 1 号

(機関の長の氏名) 消防局長 上田 匡

(担当者所属・氏名) 岡山市消防局警防部救急課 課長補佐 黒住信之